# 様式1【音楽·中1·「曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう」】①

## 育成を目指す資質・能力

声の音色、旋律、テクスチュア、強弱などを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。【思考力,判断力,表現力等】

## ICT活用のポイント

① 考えを可視化し、共有する

② 個別に音楽を聴き深める

【導入】本時のめあてをつかむ。

めあて: 詩の内容と音楽の 関わりについて感じ取ろう

#### 【展開】

詩の内容を確認し、 イメージをふくらませながら 鑑賞する。

【終末】学習のまとめをし、 学びを振り返る。

### 事例の概要

○曲名をふせて、ドイツ語の「魔王」を聴く。

#### 【事例におけるICT活用の場面①】

- ○聴き取ったことや感じ取ったことをICT端末上の付箋(白色)に記入し 共有する。
- ○ICT端末上の付箋を色分け、分類することで、聴き取ったことと感じ取ったことを結び付けて考えたことを可視化できるようにする。

#### 【事例におけるICT活用の場面②】

○詩の内容を確認後、個別に音楽の特徴的な部分を繰り返し聴くことで、 曲想の変化に気付けるようにする。

## 【音楽・中1・「曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう」】②

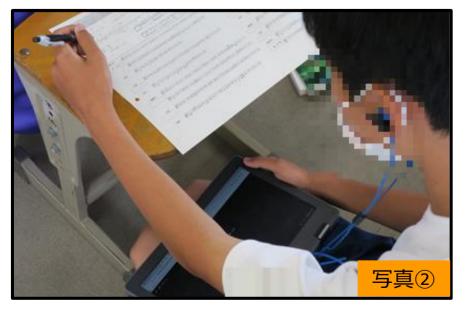
### 【事例におけるICT活用の場面①】



## ~考えの可視化と共有~

「魔王」を聴き、感じ取った音楽のイメージを共有した。 (写真①) その後「なぜ、そのように感じ取ったのか」について音楽の要素の働きと結び付けて考えさせた。共有するだけではなく、分類・関連付けることで、考えがより明確になっていった。 【活用したソフトや機能】 学習支援ソフト

## 【事例におけるICT活用の場面②】



## ~個別に音楽を聴き深める~

登場人物や場面の切り替わりで、曲想が変化していることに気付けるように、イヤフォンを使って個人で聴く場面を設定した。(写真②) 自分が気になったところを何度も繰り返し聴くことで、より深く音楽のよさを感じ取ることにつながった。

【活用したソフトや機能】 音楽再生機能